

# 日本の伝統美を訪ねて



[日本の伝統美を訪ねて 下载链接1](#)

著者:白洲正子【著】

出版者:河出書房新社

出版时间:2001-10-30出版

装帧:1 9 c m （B 6）

isbn:9784309265001

さまざまな日本の美しさを探る。

名手との対話集。

工芸に生きる（草柳大蔵）

日本人のこころ一落ち葉一枚にも感動する“美”の意識（谷口吉郎）

十一面観音を語る（上原昭一）

大人の女は着物で勝負（原由美子）

骨董極道（秦秀雄）

象徴としての髪（山折哲雄）

西行と芭蕉一旅をすることがそのまま修行であった日本の旅人の系譜（目崎徳衛）

能の物語「弱法師」（河合隼雄）

「能」一筋一人生の最後に咲いた花こそ「まことの花」である（友枝喜久夫）

日本人の美意識はどこへ行った一芸の道から政治家まで縦横無尽（鶴見和子）

明治維新の元勳たちを論ず一維新回天の立役者、薩摩隼人の気骨とは（津本陽）

人間も骨董と同じで一目見たら分かるわ（阿川佐和子）

人の悲しみと言葉の命（車谷長吉）

作者介绍:

白洲正子 [シラスマサコ]

1910 - 1998。東京生まれ。日本の古典・芸能・工芸の研究家。薩摩隼人の海軍大将・樺山資紀の孫娘。幼時より梅若宗家で能を習う。14歳で米国留学。28年帰国。翌年、実業家の白洲次郎と結婚。43年『お能』を処女出版。戦後、青山二郎、小林秀雄らを知り、大いに鍛えられて審美眼と骨董、文章をさらに修業。62年『能面』で、また72年には『かくれ里』で、ともに読売文学賞を受賞

目录:

[日本の伝統美を訪ねて\\_下载链接1](#)

标签

白洲正子

日本

散文

评论

-----  
[日本の伝統美を訪ねて\\_下载链接1](#)

书评

-----  
[日本の伝統美を訪ねて\\_下载链接1](#)